



한청통신

韓 青 通 信

2008 年 11 月号

今号のラインナップ: 「統一・平和・和解」集会で大活躍 / 集会参加者感想文 / ウリマル秋期開講式 / 中部地協オータムキャンプ / 情勢 NEWS / 全国活動報告 / 支部紹介「日々是はんちゃんー神奈川県本部」 / スノーフェスティバル 2009 のお知らせ / 編集後記

「統一・平和・和解」集会で大活躍！



10 月 26 日、都内の社会文化会館（三宅坂ホール）で「10・4 宣言 1 周年記念の集い—統一・平和・和解」が開催され、韓青も主催団体の一員として、全国から多くの青年・学生を結集させながら、全力でこの集いの成功に向けて奮闘しました。

また、在日本朝鮮青年同盟（朝青）や在日コリアン青年連合（KEY）などの同胞青年団体や、日本社会主義青年同盟（社青同）をはじめとした日本の青年団体も、私たちの参加と賛同の呼びかけに快く応じ、当日はそれぞれの立場から同じ思いを共有しました。

韓青愛知・三重の質の高い躍動感にあふれたキルノリで始まったこの集いでは、金政夫議長の主催者あいさつで述べられた「日本政府の朝鮮半島政策を変えさせることが、朝鮮半島の統一を促進し、朝鮮半島と日本との新しい関係、新たな時代をきり開く」決意を、在日同胞や日本の友人とともにこの集いに参加したすべての参加者と共有できる機会となりました。

韓統連大阪本部を中心に創られた歌と映像と語り

でつづるアンサンブルでは、在日同胞の苦難の歴史やそれを克服する闘い、平和と和解へ向けた東アジアの新しい時代を表現され、会場に感動の涙を誘いました。ここには大阪本部のキム・マギさんがナレーションとして加わり、情感にあふれた感動的な演出に一役買いました。

フィナーレでは、韓青全国で準備した律動・ノレ（歌）・群舞を発表しました。韓青はこの日に向けて、1 カ月前から律動などの練習を各地方でしてきました。しかし、全体で集まる時間が本番前のリハーサルしかなく、当日は緊張感漂う中で練習と修正を繰り返し、一抹の不安も抱きながらも、ついに本番を迎えることとなりました。しかし、青年こそが「新時代の主人公」で、笑顔と希望にあふれる未来を創造するという想いをのせた青年らしい生き活きた姿は、この集いのフィナーレにふさわしいものになりました。

その後のパレードでも青年隊列では、力強く声を出し、道行く人々に平和と統一、和解のメッセージを訴え、沿道の人たちにその支持を呼びかけました。

パレード後は交流会を開催し、他団体との交流や、久しぶりに会った全国の仲間との交流で盛り上がり、冬期講習会での再開を約束するなど、集いの内容を深める交流会となりました。この間、0 泊 3 日（往復ともに夜行バス）の強行スケジュールで参加した地方もありましたが、参加者全員が達成感と充実感にあふれた今回の集いを機に、より一層の強い団結で韓青運動は進んでいきたいと思います。（徐）

<「統一・平和・和解集会」参加者感想文>

三重県本部 四日市支部 チャン・ウチッ

まず私自身、韓青に来る前は、祖国統一はまだ先の話だと思っていました。しかし、韓青に来て、6.15 共同宣言や 10.4 宣言などを学ぶうちに、統一が近いんだということを日に日に感じられるようになりました。今回、10.26 の集会に全国の韓青の同志や、心から平和を願うさまざまな人たちが集まると聞き、同じ目標に向かって生きる同志たちに会い、自分の中にある民族心を今一度熱く燃え上がらせようと参加しました。

米国の北部祖国に対するテロ支援国家指定解除という朝鮮半島の統一へ大きな前進ともいえるこの歴史的な大転換期に集会に参加し、祖国統一が意味するものとは何かを学びました。朝鮮半島の南北統一は、もはや私たちの民族だけの問題ではなく、アジアに住む人たち、また全世界にいる平和を願う人たちの希望なんだと感じました。

祖国がひとつになろうとしたとき、日本でも民団と総連がお互いに歩み寄りました。残念なことに、日本社会と米国の圧力によって白紙にされたのですが、日本で私たちを在日同胞がひとつになることは、それだけ脅威になるということなんだと感じました。逆に言えば、日本で在日同胞が一つに結束して立ち向かえば統一が一日でも早く実現できるのではないかと感じました。朝鮮半島の問題と私たちを在日同胞の問題はつながっていると思います。祖国で問題が起きれば、在日同胞は激しく批難されたり、差別されたりしてきました。祖国での真の平和が訪れたとき、私たちを在日同胞も真の平和を得られるのだと思います。

また集会の中でのアンサンブルでは、ハラボヂ、ハルモニ、そして多くの同胞たちが受けてきた差別や悲しい歴史を振り返って、自分自身が深い悲しみと怒りを感じました。あの方たちが命をかけて守ってくれたからこそ、私たちは今ここに存在しているということを感じることができました。しかしながら、その無念の想いを含んだ悲しい歴史も、日本政府により曲げられ、忘れ去られようとしています。しかし、私たちは生き証人です。歴史を曲げようとするのなら、私たちが声をあげ反対し、後世にありのままの歴史を伝えていくのが私たち韓青の使命だと思いました。

今回集会に参加して学んだ、統一・平和・和解の精神をもとに、私たちを在日同胞青年がやらなければならないことが見えてきました。他団体と交流を深めあうこと、周りにいる在日同胞の方々に私たちの想いを伝えること、日本社会にもっと私たちの声を響かせること、そして、在日同胞が一つになること。新しい世代に、もっと素晴らしい社会と歴史を残していくためにも、韓青で統一運動を行なっていくことをここに決意します。

最後に、朝鮮民族として生まれたことを誇りに思います。

韓青東京・荒川支部OB
韓統連兵庫

李 一 龍

09 年 2 月に結婚します！

韓青兵庫OB
韓統連兵庫

李 俊 熙

<「統一・平和・和解集会」参加者感想文>

京都府本部 右京支部 キム・ウンテ

アンニョンハセヨ。今回の集いには、韓青にある程度慣れてきた時期での参加でしたが、発見、刺激、そして反省にあふれた、いろいろな意味で有意義な時間を過ごせました。

人生の大半を日本人の意識で過ごしてきた自分は、韓日間の過去の問題や、祖国、在日の現状などに関する知識がほとんどありませんでした。何か聞いたことはあるけど、へえ～そんな事あったんや～…。その程度でした。ですがこの集いで、特に映像を交えたアンサンブルで目の当たりにした韓日間の過去は衝撃的でした。なんとなく理解し、想像していたものよりもはるかに生々しかった！！自分には知識だけでなく意識も欠けていたように思います。そう思ったとき、自分は日本政府の在日に対する同化政策に知らないうちにどっぷりつかった、ある意味成れの果ての姿ではないかと、韓青に一年近くいながらそれに気づかなかったのかと、少し残念でした。発見とともに反省です。

とりあえず、暗い話はさておき、先にあげた感情は大きな刺激にもなりました。悲しい過去や祖国、在日の現状にただ憤慨するだけで終わらず、これから何が出来るか。考えましたが、具体的には今のところ分かりません。ですが知識も意識も足りない自分は、まずそれを育てることから始めればよいと思います。それなしには何も出来ませんし、語れませんから。同時に今は韓青の先輩の手足になって頑張って活動を盛り上げていきたいと思います。まずは来年のSF、派手にプンムルをやりたいと思います！！お楽しみに！！

その他の参加者たちの感想（編集部の独自の聞き取りによる）

●東京本部・29歳・男性

全国の仲間と律動や群舞でこの集いを盛り上げて、大きな達成感を得ました。交流会でも多くの仲間とアツい話ができて最高でした。

●広島県本部・29歳・男性

はじめて全国の仲間たちと出会いました。交流会などでは、さまざまな人に親切にしてもらい、韓青の仲間のあたたかさを感じました。そういった空間の中で、自分が韓国人であることを強く感じたし、この集いで韓国人として生きることのパワーをもらいました。

●兵庫県本部・29歳・女性

「在日が和合すること、それが祖国の情勢を変え、在日を解放していく。」韓青の先輩が語ってくれたこの言葉の意味が、この集いに参加して理解できるようになりました。

●神奈川県本部・28歳・女性

在日は在日といえども祖国の情勢やそれを取り巻く構造からは逃げられないということを、この集いに参加して気がつきました。特に、映像でつづるアンサンブルではハラボジ・ハルモニたちが味わってきた苦しみに対して重く受け止めなくてはならないということや、それを克服しようとする思いや行動の大切さを知りました。最初、デモとかは乗り気ではなかったけど、自分が行動することの大切さに気がつきました。



情勢NEWS

くさびた刀「国家保安法」を とき始めた李明博政権＞

李明博政権出帆後、国家情報院と警察による強制捜査などの公安弾圧が吹き荒れる中で、国情院の捜査・保安部門を強化する内容を盛り込んだ諸法案が、相次いで国会に提出されるなど、韓国社会の民主主義が再び「暗黒の時代」に押し戻されているようにしています。

キャンドルデモ掃討弾圧に端を発した公安弾圧によって南北共同宣言実践連帯（実践連帯）などの市民社会団体の幹部が次々に逮捕されている中、国会では国情院の権限強化に関する法律が、与党ハンナラ党の議員立法という形で続々と提出されています。国会に提出された法案は「通信秘密保護法改正案」「国家の対テロ活動に関する基本法案」「国家サイバー危機管理法案」「海外の情報と国内の保安情報」で、それらが議決されると、捜査機関の携帯電話への通信傍受や国家によるサイバーの管理が認められるようになり、「国家対テロセンター」が設置されるとともに、国情院の情報収集活動の範囲が広がるのです。

韓国社会に国家保安法が存在している以上、これらの法律は、現政権が自らに不都合な勢力を弾圧する時の機能強化のタメであると言わざるを得ません。

また9月25日には、私たち韓青の友好団体である韓国青年団体協議会（国内韓青）に対し、「利敵団体構成」容疑に対する控訴審が約2年ぶりに再開され、国家保安法上の利敵団体規定を維持するという判決が下されました。特に問題なのは、裁判部が判決文の中で（国内）韓青の利敵団体規定を維持する根拠として「6.15南北共同宣言支持」の部分の問題視したことです。裁判部は、（国内）韓青が「反米・連邦制での祖国統一、6.15宣言支持・履行、駐

韓米軍撤収、国家保安法闘争などの闘争方向を提示しながら、究極的に北の民族解放民主主義革命と軌をともにする」と断定しました。

政権が変わってから、鈍くなった国家保安法という刀が再度研がれ振りかざされている現状の中で下されたこの不当な判決に対し、李承浩議長は「（国内）韓青に対する後退した判決は、公安弾圧の流れと軌をともにしており、ともに闘っていく」と述べています。

このように李明博政権は、さまざまな面で韓国社会をかつての「民衆弾圧の時代」に押し戻そうとしているのです。そうした「時代の逆戻し」に対して、市民社会陣営では「公安弾圧対策委員会」と「国家保安法廃止国民連帯（国民連帯）」を構成・再稼働させて、相次ぐ国家保安法事件に強く対応しており、第二のキャンドル闘争として国民的な広がりも見せつつあります。

このように民衆は李明博政権の傍若無人な執政に対しての反撃を始めています。民主主義のため、民族のために活動を行っている進歩団体に対する李明博政権の公安弾圧は言語道断な行為であり、李明博政権が今後も一貫して公安弾圧を続けるのであれば、それに相対して民衆の闘争は更に苛烈化するでしょう。（竜）



ソウル清溪広場でのキャンドル文化祭（10月18日）

活動紹介



秋期ウリマル開講式

韓青では10月下旬から11月上旬にかけて「ウリマル教室・開講式」を全国一斉で開催しました。全国の開講式には多くの新規参加者が集まり、新旧おりまぜての交流などを通してウリマルを学ぶことの意義を深め、学習の決意を高める場となりました。

ここでは、全国に先駆けて開催した大阪本部を中心にリポートします。

大阪本部の開講式では、3ヶ月ごとの修了式で行なっている独自の検定試験の答案用紙を返却し、試験の結果に基づいて、新しいクラスが発表しました。試験に合格した人も、惜しくも不合格だった人も、入門班、初級班、中級班、会話班に分かれて楽しく授業をおこないました。

そして、授業後は各支部でお楽しみ企画で盛り上がりしました。

北大阪支部では、お好み焼きパーティー&サプライズ誕生日パーティーをおこないました。人数が多かったので、お好み焼きと焼きソバをどんなに焼いても間に合わず、ついにはブレーカーが落ちるなど、てんやわんやのパーティーになりました(笑)。支部のメンバーが差し入れてケーキを持ってきたので、全部で4つのホールケーキをみんなで平らげました。

布施支部では、サムギョプサルパーティーをしました。豚肉とエリンギ、キムチを焼いて、チシャで包んで食べたり、牛肉や、少し高級な豚肉も焼いて、タレやポン酢で美味しく食べました☆ 納豆も一緒に包んで食べる食べ方は支部のメンバーにも大好評！みなさんも一度試してみてくださいね。

生野北支部は、交流会を開き、みんなでお酒を飲みながらワイワイ語り合いました。今、生野北支部はネイティブの留学生たちもたくさん来てウリマルで交流しているので、支部のメンバーを合わせると部屋に入りきらないくらいで、みんなギュウギュウになりながら楽しく過ごしました♪

このように、大阪本部をはじめ全国のどこの支部でも、新参加者を迎え、今後もみんなで一緒に楽しくウリマルを学んでいます。(麻)



Pick up

- 10/25(土)に兵庫で「6.15南北共同宣言8周年 10.4宣言1周年記念 ひょうごハナフェスタ」を兵庫コリアン青年学生協議会により開催。
- 11/2(日)に京都市内の東和小学校で「東九条マダン」が開催され、韓青京都も実行委員会として参加。当日は約5千人が朝鮮文化にふれあう。
- 11/3(休)に東京足立区主催の「国際祭り」に韓青東京の足立支部がサムルノリで出演。

かんふうどう

康復堂 平山鍼灸治療院

〒984-0057

仙台市若林区三百人町179

TEL/fax 022-291-0064

E-mail nicakumi@m9.dion.ne.jp

鍼灸師

申 孝 信

韓青の活躍を函館から応援します。

権 龍 夫

金 和 美

オータムキャンプ2008（中部）

さる11月1日（土）から2日（日）、韓青中部地協（愛知県本部・三重県本部）は「オータムキャンプ08」（2008年韓青中部地協秋期合宿）を開催し、全体で20名が「名古屋市宿泊青年の家」に集いました。

注目の目玉企画はM-1GP！Mは文化（ムナ）のMです。初日の夜、愛知・四日市・桑名の3地域が練習に練習を重ねた文化発表を披露しました。

一番手、愛知県本部のサムルノリ！最高！二番手は桑名支部のノレ（歌）ライブ。…乗り切った！最後に、お口直し！四日市支部からのノレアンサンブル！熱気！そして涙…。全身で民族を感じることができた時間となりました。

さて、その後、風呂に入り、お待ちかねの講演。愛知県本部の委員長団代行のお2人が、自身の半生と韓青への決意、そして「生きるとは」を語っていただきました。その後、支常委班長団で構成された各班に別れ、参加者が生い立ちや「なぜ韓青に参加しているのか」などを話し合い、その後、その内容をさらに深めるための大交流会！みんなで朝方4時半くらいまで語り合い、飲み明かしました。

朝はゆっくりと起きて、2回目の班別。「民族的に生きるとは？」などを話し合い、その後、全体学習会「在日の未来を見る」をおこない、在日の歴史を確かな目で見つめることが、明るい未来を見ることにつながることを全体で学びました。

お昼は、外でバーベキュー。お肉が最高でした！1泊2日をお互いに語り合いながら、そのまま野外での閉会式。各自が想いを叫び、全体で共有して、オータムキャンプは無事終了しました。前年に引き続き、今年も大成功に終えることができた、韓青中部の秋期合宿「韓青中部オータムキャンプ08」でした。（白）



炭火焼肉・韓国酒家 ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ～飛楊鳥～

〒108-0014 港区芝 5-22-6 TEL 03-3453-2383

☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください

（各階40名様まで）

焼肉 晩 翠

ばんすい

〒108-0014 東京都港区芝 5-23-10
TEL & FAX 3452-0061

日々是はんちゃん

全国支部紹介

Vol.3 神奈川県本部（横浜支部）

横浜駅前の雑踏をかいぐって歩くこと約 10 分。京浜急行の赤い電車が脇を走るマンションの一室が、神奈川県本部の事務所だ。今回は港街横浜から潮風に乗せてアツ〜い伝統を誇る神奈川県本部の紹介をしていきたいと思います。

◇愛国闘争伝統が具現化した本部事務所

神奈川県本部事務所といえば、全国にある韓青の拠点の中で唯一賃貸でない事務所で有名。つまり僕らの陣営所有の財産です。ではなぜ神奈川だけ？ということにまず触れなければなりません。

ちょっと歴史の話になりますが、70 年代の韓青と言えば反独裁民主化闘争ですよね。正義と真理の青年団体である韓青は、祖国の朴正熙軍事独裁政権、そしてそれに追従する当時の民団を民主化していこうという闘争を繰り広げました。そのため民団民主化の拠点であった神奈川への弾圧は苛烈を極め、その中で本部事務所が不法占拠される事件が起こりました。この事件の裁判闘争の結果、現在の事務所を勝ち取ったという歴史があるのです。

つまり、韓青神奈川の愛国闘争伝統がまさに具現化されたものが、この神奈川県本部の事務所といえるのです。



◇ふと気付けばあちこちに…



そのためかつての闘争の雰囲気の色濃く残っているのが神奈川県本部事務所の特徴！たとえば古びたロッカーに何気に張られている「SAVE KIM DAE JUNG」ステッカー。もちろん金大中氏救出闘争当時のものです。これを見るたびにアツいねと言いながら、後に大統領になって 6.15 時代を切り開く前提を作り出したのは、やっぱり韓青なんだなあなんて。染みます。

また教材が入っているラックのガラス戸には 90 年代統一運動のポスターやステッカー、ウリマル授業で使うホワイトボードの上には 2000 年 6.15 共同宣言を発表した時の南北両首脳の写真、その他にも様々な情宣物でデコレーションされています。はじめてウリマル教室に参加する青年も「ただの教室じゃないな」と気持ちを引き締めます（笑）



◇伝統を引き継ぎ、在日同胞青年とともに



そんなアツ〜い神奈川県本部には神奈川県下から多くの同胞が集い、活動しています。ウリマルをはじめノレ（歌）や律動（ダンス）、カヤグムなどの文化活動の大抵のことは事務所でやっちゃいます。もちろん青年セミナー（学習会）や情宣活動の拠点としても大いに活用中です。

愛国闘争伝統の薫るこの本部事務所を日々在日同胞青年のために活用することが、先輩たちの勝ち取った成果を引き継ぐことになると思います。11 月からは川崎でのウリマル教室も再開し、これからも多くの青年とともに様々な活動を展開して行きますので、韓青神奈川の活動にご期待ください。



今年もやってくる♪ スノーフェスティバル2008

早いもので、気がつけばもう11月。先輩、友人のみなさまも年末に向けて慌しくなるころでしょうか。そのような年末を目前にしながら、韓青では全国の総力をあげて大一番に向けた準備が始まります！

そうです、韓青最大のビックイベント「スノーフェスティバル2009（以下、SF）- 第45回韓青全国冬期講習会」が2009年2月6日（金）～2月8日（日）、岐阜県・飛騨乗鞍高原にて今年も開催されます。

標高1,500mの白銀のゲレンデ

標高1,500mを超える飛騨乗鞍高原のスキー場は、宿舎から歩いてゲレンデに行くことができる快適さ。初級ゲレンデコースも完備しているので、スキー、スノボ初心者でも安心して滑ることができます。もちろんうまく滑れない人には、丁寧にスキー指導もしています。

全国の同胞青年とドキドキの出会い／語らい

SFの魅力といえば、何とんでも『同胞青年との出会い』ですね。全国から年齢や環境の違った、でも同じルーツを持つ同胞青年が集まる姿は圧巻！の一言。そのようなメンバーとともにグループ企画やディスカッションを行い、時代は変わっても根っこは今も変わらない同胞青年の悩み・自身の出自や名前、恋愛などを語り合います。「民族とは？祖国とは？」について時には頭を抱えながら、時には活き活きと意見交換をするその姿や笑顔からは、同胞社会の希望を感じることができます。

メインイベントは「韓青文化マダン」で決まり！

最終日の夜に行われる『韓青文化マダン』には、全国の地域本部から魅力的な文化発表がラインナップ。チャンゴなどの民族楽器によるサムルノリ、チャンゴカラに民族舞踊、そして詩と歌でつづるアンサンブルやマダン劇、構成劇など、韓青ならではの発表が目白押しです。また抱腹絶倒の各班寸劇も見逃せません。きっと今頃、各本部で文化発表の練習が始まっている頃かもしれませんね。

「民族である自分、在日である自分」を見つめ、考えられる韓青のSFでは、多くの同胞青年の参加を心よりお待ちしております。

スノーフェスティバルのお問い合わせはこちらへ→ 0120-734-101(フリーダイヤル)

編・集・後・記



第3号、いかがでしたか？若い盟員たちのアツイアツイ感想文を見ると、こちらも元気になって来ますね。編集をしながらニヤニヤしてします自分がいます。いよいよ冬が近づいてきました。年末に近づき、気分もそろそろわてきます。年末、年始行事もそうですが、今年は各地方の定期大会が重なっていて、世代の移り変わりを感じます。先輩から託されたバトンはしっかり握らねば・・・と身が引き締まる秋の日々なわけです。では、また次回お会いしましょう。(李)